

令和8年度 シラバス 【地歴公民】

科目名	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
公共	2	2	7実教 公共007-902 公共 新訂版 共につくる未来 (実教出版)	2026ズームアップ公共資料 (実教出版) 公共 新訂版 マイノート (実教出版)

◇科目の概要と目標

- 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ・考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
 - ・現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
 - ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

◇科目の観点別評価の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・資料を適切かつ効果的に活用する能力や、概念的な理解に基づく知識を身に付けているかを評価する。	・多面的・多角的に考察し、表現できているかを評価する。	・学習を振り返りながら課題を追究しようとしているかを評価する。

月	4月		5月		6月		7月
科目名	単元1		単元2		単元3		単元4
公共	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 1.青年期とは 2.自己形成の課題(1) 3.自己形成の課題(2) 4.職業生活と社会参加 5.伝統・文化と私たち		第2章 人間としてよく生きる 1.古代ギリシアの人間観 2.科学と人間 3.自由の実現 4.社会を作る人間 第3章 他者とともに生きる 1.人間と幸福 2.公正な社会をめざして		第4章 民主社会の倫理 1.人間の尊厳と平等 2.自由・権利と責任・義務 第5章 民主国家における基本原理 1.民主政治の成立 2.民主政治の基本原則 3.民主政治のしくみと課題 4.世界の主な政治制度		第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 1.現代の民主政治と日本国憲法 ◇多様な民意が反映される政治をめざして 第1章 日本国憲法の基本的性格 1.日本国憲法の成立 2.日本国憲法の基本的性格 3.自由に生きる権利 4.平等に生きる権利
知識・技能	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。		・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成することにも他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。		・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成することにも他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。		・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決することを通して、権利や自由が保障・実現され、社会の秩序が形成・維持されていくことについて理解している。
思考・判断・表現	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。		・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。		・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。また、個人と社会との関係における合意を政治的にいかんして形成することができるか多面的・多角的に考察し、表現している。		・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体としての自覚を深めようとしている。		・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。		ワークシート(授業プリント)の取り組みを評価する。 授業ノートの取り組みを評価する。		・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的原理について理解しようとしている。
月	7月		9月		10月		11月
科目名	単元5		単元6		単元7		単元8
公共	5.社会権と参政権・請求権 6.新しい人権 7.人権の広がりと公共の福祉 8.平和主義とわが国の安全 9.こころの防衛問題		第2章 日本の政治機構と政治参加 1.政治機構と国会 2.行政権と行政機能の拡大 3.公正な裁判の保障 4.地方自治と住民福祉 5.政党政治 6.選挙制度 7.世論と政治参加		第3章 現代の経済社会と国民生活 ◇さきさきを実感できる経済社会をめざして 第1章 現代の経済社会 1.経済主体と経済活動の意義 2.経済社会の裏面 3.市場のしくみ 4.市場の失敗 5.現代の企業 6.国民所得		7.経済成長と国民の福祉 8.金融の役割 9.日本銀行の役割 10.財政の役割と租税 11.日本の財政の課題
知識・技能	・我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに、我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら、変化する国際情勢の中で、我が国の安全が世界の平和の維持と密接に不可分に関連していることについて理解している。		・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決することを通して、権利や自由が保障・実現され、社会の秩序が形成・維持されていくことについて理解している。		・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。		・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		ワークシート(授業プリント)の取り組みを評価する。 授業ノートの取り組みを評価する。		・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、市場経済の機能と限界などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
月	12月		1月		2月		3月 年間
科目名	単元9		単元10		単元11		
公共	第2章 日本経済の特質と国民生活 1.戦後日本経済の成長と課題 2.転換期に立つ日本経済 3.経済社会の変化と中小企業 4.農業と食料問題 5.消費者問題 6.公害の防止と環境保全 7.労働問題と労働者の権利		8.こころの労働問題 9.社会保障の役割 10.社会保障制度の課題 3.国際社会と人類の課題 ◇格差と分断を超えて 第1章 国際社会の動向と課題 1.国際社会と国際法 2.国際連合と国際協力 3.こころの国際政治		4.人種・民族問題 5.軍拡競争から軍縮 6.国際平和と日本の役割 第2章 国際経済の動向と課題 1.貿易と国際収支 2.外国為替市場のしくみ 3.第二次世界大戦後の国際経済 4.地域的経済統合の進展 5.国際経済のつながりと課題 6.発展途上国の諸課題と日本の役割		学年末考査
知識・技能	・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。		・国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に平等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領有や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。		・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一國の経済政策や経済活動が他国にも影響を及ぼすこと、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球規模の課題であることについて理解している。		・各学期の定期考査における基礎用語の定着を総合的に評価する。 ・授業ノートへの記述ができているかを評価する。
思考・判断・表現	・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		・各学期の定期考査における資料を活用する思考問題・判断問題の定着を総合的に評価する。 ・探究型のテーマ学習を活用して、思考を深めることができるかを評価する。
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		ワークシート(授業プリント)の取り組みを評価する。 ・長期待業中の課題、時事問題への興味関心、自らの考えを持ち、意見を述べることができているかを評価する。 ・グループ学習の活用でクラス内での対話学習により、考えが深まったどうかワークシートの記入や発言を評価する。		